

JATA

http://www.jata-net.or.jp/ **Communication**

じゃたこみ

特別
増刊号

2017年
4月10日発行

発行 一般社団法人日本旅行業協会広報室
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3 全日通費が関ビル3階
TEL:03-3592-1271 (代表) TEL:03-3592-1244 (広報)
FAX:03-3592-1268



韓国旅行新時代
日韓双方でつくる新たな流れ

大邱ランタンフェスティバル



観光環台列車ヘラン号



曾島(全羅南道・新安郡)



北村韓屋マウル(ソウル)



定林寺址の五層石塔(扶余)

●日韓観光交流対談

申 相龍 KTO東京支社長 & 菊間 潤吾 JATA副会長

●韓国旅行復活へ緊急フォーラム開催

●ソウル・釜山の深掘りモデルプラン

●2017韓国旅行最新素材ガイド

PART 1 いま最も旬!平昌冬季オリンピック・パラリンピック開催地・江原道をチェック

PART 2 付加価値アップの鍵はグローバル観光&テーマ旅行

PART 3 これからは名所だけでなく“人”が魅力に



Korean winter highlights

船橋莊

300年の歴史と伝統が見られる韓国伝統の上流住宅。
韓屋ステイを通して韓国の伝統文化を体験できる。





韓国ならではの新しい魅力をご提案

アンニョンハシムニカ。日本旅行業協会においては、昨年9月の慶州地域で発生した地震の影響により風評被害にあった同地域を応援するため、慶州応援ファムツアーを同年12月に実施くださいます、会長様、副会長様を始め150名もの会員皆様には慶州へお越しいただきました事を深く御礼申し上げます。

本年を「韓国旅行復活の年」として韓国旅行需要回復と韓日観光交流人口の1,000万人早期達成に向け、様々な活動を展開される計画であるとうかがってから、早速、新しい韓国旅行商品開発を目指して「韓国旅行復活緊急フォーラム」を開催いただき、「都市深掘り、地方素材、新素材」と3つのテーマごとにJATAが厳選したモデルコースなどの提案素材を積極的に活用し、クオリティの高い魅力のつまんだ韓国旅行商品造成に取り組んで行こうと業界へ提言いただきましたことを大変にありがたく存じております。韓国観光公社を中心に韓国観光業界はこれに答えるべく、一丸となって一層の韓国観光発展のために尽力して参る所存でございます。

韓国には、悠久の歴史遺産、四季折々の美しい自然景観、医食同源の食文化、受け継がれてきた伝統・文化など、魅力的な観光素材が溢れています。私共は、これまでの「観光する」だけの旅行から、観光客それぞれが「韓国で何をしたい」という希望や目的に沿って、新しい観光魅力を掘り起し、韓国ならではのテーマ性のある素材を提案するために準備をして参りました。つきましては、これらの情報をまとめて新しい韓国観光素材集として日本旅行業界の皆様にお使いいただく、「じゃたこみ特別増刊号」をお届けする運びとなりました。

来年2018年には、韓国江原道において「2018平昌冬季オリンピック・パラリンピック」が開催され、韓国にとりましては、訪韓外国人旅行者増大と韓国観光発展の絶好の機会を迎えます。日本からも各旅行会社のツアーに参加して多くの皆様にお越しいただけることと存じますが、これを契機に韓国への理解が深まり、韓日相互交流がますます活発になることを心より期待しております。引き続き、皆様よりお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

韓国観光公社

東京支社長 申 相 龍



日韓双方で新しい流れをつくる 市場を動かすのは「プランナーズアイ」

「海外旅行の復活」を目指すJATAにとって、2000万人の達成を実現するためにも、韓国は極めて重要なステイションです。旅行者数の回復を図ると同時に、隣国として日本とも歴史的・文化的な関係の深い韓国への旅行商品のクオリティを向上させ、「韓国旅行新時代」を切り開くにはどうすべきなのか。韓国観光公社（KTO）東京支社の申相龍支社長と菊間潤吾JATA副会長に語り合っていました。

700万人時代を迎えた日韓交流

—日本からの韓国旅行の現状について、ご認識をお聞かせください。

菊間副会長

海外旅行者数は、2016年にV



菊間潤吾副会長（左）と申相龍支社長

字回復へ向かうことが期待される展開を示しており、日本から韓国を訪れる旅行需要も動きが良くなってきました。JATAでは、海外旅行者数の2000万人達成を目指していますが、その時に、韓国への旅行需要も以前の状態に戻っていることが大事だと考えています。旅行業界にとって大きな目標である2000万人をクリアするためにも、訪韓日本人旅行者数を早く300万人に回復させ、さらに350万人へと伸ばしていかなければなりません。ここへきて、訪韓旅行の兆しが良くなってきたことは、海外旅行市場全体にとっても明るい材料だと思っています。

申支社長

韓国を訪れる日本人旅行者数は、2012年に352万人まで達して以降、残念ながら減少傾向に転じ、2015年には183万人まで低下して半減する結果となってしまいました。

た。しかし、2016年から回復基調を示してきており、今年は270万人近くまで戻せるのではないかと期待しています。日本を訪れる韓国人旅行者は2016年に500万人を突破して、日韓交流は700万人時代を迎えています。今後は、訪韓日本人旅行者数と訪日韓国人旅行者数が均衡に向かいつつながら拡大していくように願っています。

求められる旅行会社の意識変革

—日韓間では、LCCによる座席供給の拡大や旅行者のFIT化といった流れが強まっていますが、旅行会社の役割をどのようにお考えになっていますか。

菊間副会長

JATAは今年2月、アウトバウンド促進協議会を設立して、海外旅行のトレンドづくりや需要創出をリードすることを目指しているわけですが、韓国旅行の活性化に果たすべき旅行会社の役割も大きいはず。オンライントラベルエージェント（OTA）の進展による影響などで、旅行会社に求められるものも変わってきていますが、現在の市場に出回っている旅行会社の韓国ツアーを見ると、OTAでも可能な商品づくりにとどまっているケースがあまりにも多すぎたのではないかと思います。海外旅行市場の成熟が進んでいるにも関わらず、ソ

対談 シン サンヨン 申相龍 韓国観光公社 (KTO) 東京支社長
菊間潤吾 日本旅行業協会 (JATA) 副会長

ウルを中心にした価格志向のツアーがほとんどで、成熟した需要にこたえうるだけの商品が極めて少ないのが実状です。厳しい言い方もしませんが、韓国旅行の商品群を見ていると、あまりにも発展性がないように思えてなりません。韓国を訪れる日本人旅行者数を回復させるだけでなく、旅行会社の意識変革も進める必要があるように思います。JATAとしても韓国への旅行商品の幅を広げ、もっと掘り下げていけるように、会員各社の奮起を促したいと考えています。

申支社長

海外旅行市場の現状を踏まえると、日本人の海外旅行そのものへの関心が低下していることを心配しています。昨年の日本からの海外旅行者数は1700万人台で、2020年には2000万人を達成することを目指していますが、日本よりも人口が少ない韓国では、昨年の時点で2200万人以上が海外旅行に出かけました。日本全体での出国率も13%程度にとどまってい



菊間副会長「韓国はビジネスチャンスも大きい」

ますから、海外旅行の楽しさや意味合いをもっとアピールして、日本の皆さんが外国へ行きたいと思うような雰囲気づくりを、JATA会員の旅行会社が進めてくれることを期待しています。

韓国をはじめとするアウトバウンドの旅行にどうしたら関心をもつていただけるのか、JATAが設立したアウトバウンド促進協議会の役割は大変に大きいと思います。

冬季五輪を契機に文化の発信も

—日本からの訪韓旅行のトレンドなどについては、どのようにご覧になっていきますか。

申支社長

韓国を訪れる日本人旅行者は、FITの割合が大きく増加しています。

す。飛行機とホテルを自分で手配して、韓国ですることはショッピングだけというようなパターンが多く、このままでいいのだろうかと考え込んでしまいます。海外旅行の本来の意味合いというのは、訪問国の文化を肌で感じたり、相互理解を深めたりすることにあると思いますから、KTOとしても、旅行者の数を追求するだけでなく、旅行の質を高めることにも注力していく方針です。旅行本来の意味合いをアピールできるように積極的に活動していきたいと考えており、JATAの協力的なしには成し得ないと思っています。

菊間副会長

日本の海外旅行者数が2000万人に届いていないのは、韓国と中国の低迷という要因が大きいと思います。両国以外への旅行者数は全体として増加していますから、日本からの旅行者が韓国と中国に旅行したいという意欲を取り戻すことも重要です。韓国には文化や歴史といった奥行きのある魅力があるのに、そういう観点からの商品づくりへのトライアルがあまりにもされてきていない、逆に、それだけビジネスチャンスも大きいと言えるわけで、2018年に開催される平昌での冬季五輪を契機に、文化の発信も積極的に行っていただきたいと思っています。韓国旅行の新時代を開く環境は整ってきているわけですから、



申支社長「日本での韓国旅行のトレンドを変えたい」

この絶好の機会を活かさなければなりません。

テーマ旅行で新たな市場を創出

申支社長

日韓情勢の現状などから「韓国へ行くても歓迎されないのではないか」と心配される方もおられるかもしれませんが、KTOでは「昨年から「Kスマイルキャンペーン」を展開して、日本での「おもてなし」のように韓国の国民すべてが外国人旅行者を歓迎していることを表現する努力も重ねています。「観光は平和へのパスポート」であり、観光交流を通じて相互理解を深めていくことが、難しい問題の解決にもつながるはずだと考えています。そういう意味からも、日本からの韓国旅行商品では、テーマのある旅が少ないのではないかと考えていますので、

JATAが「プランナーズアイ」という観点から開催した緊急フォーラムの意義は大きく、意味深いことだったのでないかと思っています。

菊間副会長

日本からの韓国旅行が全体として低迷していることは確かですが、実は、伸びているセグメントも存在しています。10万円以下の低価格帯ツアーは参加する旅行者が減っていますが、逆に、12万円以上の価格帯では旅行者が増えているのです。主に文化や歴史に関心が強い層にはテーマ旅行で訴求できるわけですから、価格志向ではない商品をつくるにすれば、マーケットは動かせます。新しい需要を創り出していきけるのではないのでしょうか。

申支社長

緊急フォーラムは、新しいトレンドを作っていくというJATAの熱意を感じさせるものでしたし、紹介された新しいテーマや素材も日本人旅行者の心に響く内容のものだったと思います。私自身をはじめKTOとしても、日本の海外旅行市場における韓国旅行のトレンドを変えていくために、価格とは関係なく旅行者の皆さんに満足していただけるようなツアー商品が増えていくように努力しなければならぬと考えています。

活性化へ旅行会社の存在感示せ プランナーの知恵と工夫で魅力再発見

JATAは3月3日、東京・芝公園のザプリンスパークタワー東京で「韓国旅行復活緊急フォーラム」韓国再発見「プランナーズ・アイズ」を開催しました。今年2月に発足したJATAアウトバウンド促進協議会による最初の事業となった同フォーラムには、日韓双方の関係者ら約160人が参加し、日韓観光交流1000万人時代へ向けて日本からの訪韓旅行の再活性化を図るため、活発な意見交換が行われました。また、同時開催された商談会では、韓国側の新素材や地方素材などが紹介されています。

2000万人達成へ韓国の復活を

韓国旅行復活緊急フォーラムでは、JATA海外旅行推進委員会委員長でJATAアウトバウンド促進協議会の会長も務める菊間潤吾JATA副会長がモデレーター役となり、韓国観光公社(KTO)東京支社の申相龍支社長、日本旅行の高橋正浩執行役員、エヌオーイー東京支店の松浦真課長の3氏がパネリストとして登壇しました。

菊間副会長は、JATAとしても大きな目標である「海外旅行2000万人の達成」のために、「韓国を訪れる日本人旅行者数を回復させ増やしていくことが、一番の近道であり大切なことであると認識している」と語り、日本の海外旅行市場におけるデステイネーションとしての韓国の重要性を強調しています。

日本からの海外旅行者数は2012年に1850万人まで達していますが、菊間副会長は、「韓国と中国への旅行者数を当時の規模に戻すことができれば、2000万人に限りなく近づく数字となる」と指摘。「2000万人達成のためには、まず、韓国への旅行者数を回復

させなければならない」と決意を示しました。

マーケット動かすのは旅行会社

菊間副会長は、日本からの海外旅行需要が様々な環境変化により、これまでもアップダウンを繰り返してきたことに言及し、「旅行会社として、単に市場環境が良いからツアーが増えたとか、市場環境が悪いからツアーが減らしたとかいうことではなく、どういう市場環境であつても、プランナーの知恵と工夫でマーケットを動かしていくことが大事なことだ」と強調。旅行会社離れやFIT化の進行という流れはあるものの、「旅行会社が単なる受け皿的な商品をつくるだけにとどまっていたら、旅行会社離れがさらに進むことになる」と警告し、「旅行会社が魅力を感じてもらえる商品をつくり続けていくからこそ、旅行会社の存在意義を支える一番のベースとなる」と訴えています。

JATAは、海外旅行者数を早期に2000万人へ拡大するため、今年2月にアウトバウンド促進協議会を発足させ

ており、今回の緊急フォーラムは、同協議会による最初の事業となりました。アウトバウンド促進協議会の目的の一つが、旅行会社のプランナーがプロとしての商品づくりを実現していくために、各国の関係者らと密接な関係を維持するための場として機能することです。

菊間副会長は、「2000万人が達成できたとしても、旅行会社による取り扱いのシェアが低いままでは、旅行業界にとつては意味がなく、シェアを獲得しながら2000万人を実現していくことが重要だ」と語り、今回の緊急フォーラムを契機として「韓国の魅力を再発見し、数多くの新しいツアーを創り出すことで、日本からの旅行需要を喚起していきたい」と呼びかけています。

韓国旅行新時代へ企画力発揮

緊急フォーラムで訪韓日本人旅行者の現状を説明したJATA海外旅行推進部の権田昌三部長によると、韓国を訪れる日本人旅行者数は2012年

に351万8792人に達した後、3年連続で減少を続け、2015年には183万7800人に落ち込み、昨年は229万7000人まで回復したものの、2012年の水準を100万人以上も下回ったままとなっています。

また、韓国と香港・マカオ、台湾の東アジア方面における日本人旅行者の旅行形態をみると、2012年に全体の49%を占めていたパッケージ旅行の比率が、2015年には38%まで低下しているのに対し、個人旅行のシェアは、2012年の47%から2015年には57%まで拡大しました。

さらに、日本と韓国を結ぶ航空路線では、過去5年間で供給座席数が約125万席増加していますが、LCCの増加分は全体の90%を占めたのに対し



モデレーターを務めた菊間潤吾JATA副会長



パネリストとして登壇し、それぞれの取り組みなどを説明した3氏

韓国旅行復活へ緊急フォーラム開催



緊急フォーラムには日韓双方から約160人が参加し、熱心に耳を傾けました

て、フルサービスキャリア（FSC）の座席供給の増加は6万席にとどまっております。この結果、日韓間におけるFSCの供給座席シェアは90%から60%に低下しています。

権田部長は「LCCと上手く付き合っていかなければ、旅行会社を利用する韓国旅行の未来がなくなる可能性もある」と警告。「FSCだけでなくLCCも使いながら、個人旅行やOTAでは対応できない魅力的な商品を開発することが急務だ」と強調、「韓国旅行新時代に向けた観光素材を活用して、企画力を発揮することが非常に重要となっている」と訴えました。

日本人旅行者数300万人回復へ

訪韓日本人マーケットについて説明したKTO東京支社の申支社長は、「日本

の海外旅行市場で長い間『安近短』の代表的なデスティネーションと言われてきた韓国だが、最近では、リピーターが非常に多くなり、FITマーケットに変化すると同時に、ソウルへの一極集中が進んでいる」と指摘。マーケットの変容が進む一方で、訪韓日本人旅行者数が伸び悩んでいることから、申支社長は、昨年1年間に509万人を数えた訪日韓国旅行者数が韓国の人口比で9・8%に達しているのに対して、訪韓日本人旅行者数は人口比で1・8%にとどまって不均衡な状態であることに言及し、「日本人旅行者数が人口比で5%くらいになつてほしいが、まず、今年は270万人まで増やして、早く300万人まで回復させたい」と考えを示しました。

申支社長によると、これまで旅行者数を追求していた観光の観光政策は、今年から質的な充実を図ることも目指しており、地方における需要の拡大やソウル、釜山など大都市の深掘り、新素材の発掘などを進める方針です。申支社長は、今年が「全羅北道訪問の年」と設定され、地域で様々な展開も計画されていることを紹介し、「全羅北道に限らず韓国の地方には潜在的な魅力を持つ観光地が沢山あるので、日本の旅行業界の皆さんには是非関心を持つていただきたい」と呼びかけています。

課題クリアし地方で商品造成

エヌオーイー東京支店の松浦課長は、同社での韓国の地方における商品展開について、「ソウルや釜山、済州島など都市型のパッケージツアーを中心に韓国へ

の送客を行ってきただが、何か問題が発生すると大きく落ち込んでしまうことから、特に、MERS（中東呼吸器症候群）の影響が深刻だった2015年以来、本格的に地方にも目を向けるようになった」と説明。「KTOからアドバイスをいただいたり、企画メンバーで会議を重ねる中で、江原道に注力して様々な企画にトライして動き始め、日帰りプランなどもつくっており、爆発的に売れるという状況でもなかったものの、色々な形での取り組みを通じて知恵が出てきた」と語り、実際にトライすることの意義を強調しています。また、江原道と京畿道を組み合わせた最近の事例を挙げ、「地方色だけを前面に掲げるのではなく、ロケ地を巡るという韓流部分も打ち出して商品化することで、韓流の宝庫という事情を分かっている層が反応してくれるような地方展開」を紹介しました。

松岡課長は、韓国での地方におけるツアー企画について、移動手段や観光行政との連携、地域での配車やガイドの手配などの支援体制が課題となることを指摘した上で、そうした課題をクリアしながら地方での商品造成を強化していく考えも示しています。

周遊型の比率高める取り組みも

航空座席の仕入状況について説明した日本旅行の高橋執行役員は、「FSCが仕入れの中心となっているが、韓国線の座席供給全体に占めるシェアが4割を超えたLCCは看過できない存在」と指摘し、「シェアはまだ小さいものの、学生専用やネット専門などLCCの特性

を生かした商品を展開している」と説明。

高橋執行役員によると、FITや団体でのLCCの取り扱ひも増えてきており、「今後も仕入環境の変化を見据えながら取り組んでいく」方針です。

また、高橋執行役員は、かつては韓国の3分の1くらい取り扱ひだった台湾が韓国に匹敵する規模にまで拡大してきていることを明らかにすると同時に、単価や宿泊数で台湾を下回る韓国の方が1都市集中の度合いも大きいことから、「大都市の深掘りも大事だが、地方も含めた周遊型の比率を高めていく取り組みも重要だ」という認識を示しています。



商談会では韓国の様々な新素材や地方素材の情報などが提供されました

これからのツアー企画は深掘りで 伝統・文化から異色体験まで多彩な素材

訪韓日本人旅行者の需要回復に向けて、大都市の深掘りや地方観光の開発などが柱に位置づけられる中、緊急フォーラムでは、ソウルと釜山の新素材や豪華列車を利するモデルプランも紹介されました。韓国へのツアー商品は定番コースを中心に価格競争力を重視する傾向が続いてきていますが、韓国旅行新時代を切り開く魅力にあふれた企画を市場に提案していただけるよう、最新の素材を活用して大都市を深掘りし、新たな魅力を楽しめるモデルプランを紹介します。

美しい韓国に出会う

ソウル深掘り 2泊3日モデルプラン

1日目／伝統的家屋で偲ぶ生活様式

「美しい韓国に出会う」ソウル深掘り2泊3日モデルプラン」を紹介した韓国観光公社東京支社の伊藤清香マーケ

ティングマネジャーは、「ソウルといえば、ショッピング・グルメなどのツアーがほとんどという状況になっているものの、大切に守られてきた韓国の伝統や文化にも触れていただくことができれば」と説明しています。

1日目は、伝統的家屋を訪れて韓国の生活様式や伝統の素晴らしさを感じてもらおうためのコースで、ソウル到着後に青瓦台の裏側に位置する城北洞の韓国家具博物館を見学。この博物館は伝統的な家具の数々を収蔵しており、近年、特殊博物館として注目を集めてきています。見学は完全予約制となっており、解説員によるツアーも用意されているので、正確な知識を得たり、韓国の生活文化への理解を深めることもできる興味深い素材です。

同じく青瓦台のエリアにある三清閣は、もともと国の迎賓館としての役割を果たしていたもので、現在はレストランや公演場として活用されている伝統文化施設となっています。ここでは、小さな端



韓国の伝統的家屋である韓屋が保存されているソウルの「北村韓屋村」

切れをつなぎ合わせて作る伝統的なパッチワーク、ボジャギづくりなどの文化体験ができるほか、医食同源を守ってきた韓国伝統の韓定食を味わえます。

また、ライトアップされている古宮の夜間観覧なども、すでにソウルの夜景観光として定番となりつつあり、伝統文化の新たな楽しみ方として外せないものです。が、開放日については事前に確認する必要があります。

2日目／体験して味わう韓国料理

2日目は歴史と文化を体験しながら新しいスポットも楽しめるプランで、朝鮮王朝600年の首都としての歴史を持つソウル市が城郭の探訪路を整備したウォーキングコースを歩いて歴史を体験することができます。

昼は、ビビンバ・キムチ・プルコギなどの韓国料理作りの体験をしながら食事も楽しみ、午後には国宝を含め22万点以上も収められている国立中央博物館を見学。さらに、1970年代に建造されたソウル駅前の高速道路の高架スペースが、

ソウル市の都市再生事業により今年4月に空中庭園としてオープンすることから、緑あふれる空間で足湯やカフェなどが楽しめます。

夜は、ミシユランの星を獲得したレストランで食事をした後、4月にオープンするロッテワールドタワーでソウルの美しい夜景を観賞します。

3日目／ディスカバーソウル PASSで自由行動

3日目は、ソウル市が旅行者向けに展開している施策の一つである「ディスカバーソウルPASS」を利用するフリープランです。これは、伝統・韓流文化体験ができる16カ所の観光施設への入場券付きの外国人専用交通パスで、ツアー参加者の自由行動には最適の素材と言えます。

また、韓国伝統衣装や伝統酒造り、餅作りなどの文化体験を「ソウルの異色体験観光Ⅱワンモアトリップ」として提案しており、ぜひ旅行者の皆様にお楽しみいただきたい素材です。

ソウル深掘り 2日3日モデルプラン

<1日目>

- 昼 日本各地よりソウル到着 → ソウル市内へ
午後 ○城北洞 韓国家具博物館
※完全予約制、解説員付。アフタヌーンティーも可能(要予約)
○三清閣 文化体験「ボジャギ作り」
※完全予約制。その他の文化体験もあり
夜 ○三清閣 韓定食
○古宮 夜間観覧(徳寿宮、昌徳宮等)

<2日目>

- 午前 ○城郭探訪路コースを体験
(漢陽都城は世界遺産登録申請中)
○景福宮 見学
※時間があつたら、三清洞～北村韓屋村を散策
昼 ○韓国料理作り体験と食事
(韓国伝統飲食研究所、K&Fアカデミーなど)
午後 ○国立中央博物館(日本語解説、音声ガイドあり)
※または、サムソン美術館
○ソウル「空中庭園」※4月オープン
夜 ○伝統酒マッコリと韓国伝統料理の夕食
○ロッテワールドタワーで夜景観賞
※4月オープン

<3日目>

- 終日自由行動
提案(1) ○「ディスカバーソウルPASS」
伝統、韓流、文化体験ができる16カ所の観光施設
入場機能付きの外国人専用交通パスを利用
提案(2) ○ソウル異色体験観光「ワンモアトリップ」
夕方 ソウルから日本各地へ出発

新しい釜山の魅力に出会う

釜山深掘り 1日モデルプラン

海から眺める美しい夜景

ソウルに次ぐ大都市である釜山については、慶州との組み合わせ観光となるケースが多いことから、じっくり観光する1日コースのモデルプランが紹介されています。

午前中は、海印寺・通度寺と並んで慶尚道を代表する3大寺院の一つである梵魚寺を参観し、梵魚寺のある金井山は三国時代に城が置かれていた場所でもあることから、現在も残されている4キロにわたる城壁も見学します。

東洋一の渡り鳥飛来地として知られる乙淑島、あるいは、菜の花畑などがある大渚生態公園を訪れた後、昼は、釜山の

定番である海鮮料理を楽しみます。

午後には、韓国戦争(朝鮮戦争)で逃れてきた人たちが居住し始めた場所、甘川文化村を訪問。山裾に建ち並ぶ建物と通りが美術プロジェクトを通じて再生された色彩豊かな景観は最近、注目を集めています。また、潮の満ち引きによつて島が5つや6つに見える五六島の眺望を楽しめる「カモメと歩く海岸散策路」二岐台カルメツキルを歩きます。

夜は、釜山の夜景を海から眺めたいという要望も増えていることから、遊覧船やヨットに乗船し海から街を眺める夜景クルーズが組み込まれています。

釜山深掘り 1日モデルプラン

- <午前> ○梵魚寺と金井山散策
※1泊2日～テンブルステイ体験あり
- 大渚生態公園(菜の花畑など)もしくは 乙淑島渡り鳥飛来地
- <昼> ○海鮮料理
- <午後> ○甘川文化村
- 二岐台カルメツキル
※五六島スカイウォークまで散策
- <夜> ○遊覧船orヨット夜景クルーズ(ピュッフェなどの食事を楽しむ)
※もしくは機張市場の蟹料理



人気を集める釜山の夜景はクルーズからも楽しめます



クオリティの高いサービスで知られる「ヘラン号」のクルー

注目のクルーズトレイン ヘラン号

地方の魅力楽しむ豪華列車の旅

豪華列車の旅を楽しみながら韓国の地方の魅力を体験できる素材として、改めて注目されているのがクルーズトレイン「ヘラン号」です。
ヘラン号は2008年11月から運行されている観光専用の列車で、「太陽と二緒に」という意味を持つ言葉の通り「美しい自然を走る最高の列車」として、韓国国内でも高い人気を誇っています。

レストラン兼カフェ、ラウンジなど様々な施設を備えた豪華列車ですが、ヘラン号での食事は列車の中ではなく、途中で停車する各地の駅で降りて、地元の名物料理を楽しむのが特徴です。

ソウル駅から出発するヘラン号の運行コースは、3カ月毎に変更されており、それぞ



旅行を盛り上げるミニコンサートなども開かれるサロンカー

れの季節に合わせて設定される最適のコースを利用してツアーを企画することになります。

出発駅はソウル駅だけですが、地方から利用する乗客の利便性を考慮して、各コースでは各地の3駅程度から乗車することもできるので、ツアーを催行する時期の乗車駅を確認して、韓国の地方観光を前面に打ち出す形での商品づくりも可能となります。

8両で編成されるヘラン号には、景観を楽しめる大きな窓のある車両も連結されているほか、車内でミニコンサートも開かれるなど、ツアー参加者の一体感を高めるプランも企画できることから、プランナーの知恵と工夫で新しい韓国の魅力を演出する素材として「ヘラン号」への期待が高まっています。

いま最も旬! 2018平昌冬季オリンピック・パラリンピック開催地 江原道(カンウォンド)をチェック!

2018年2月から3月にかけて江原道にて平昌(ピョンチャン)オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。ジャンプやフィギュアスケートなどの観戦ツアーはもちろん、手つかずの大自然が残された江原道の魅力がメディアを通じて世界中に発信

され、需要拡大のまたとないチャンスです。韓国観光公社はこの機会を活かし、日本の旅行会社の皆さんと一緒に平昌オリンピック・パラリンピック、そして周辺エリアの素材を活用した魅力ある商品造成に力を入れてまいります。

2018冬季オリンピック・パラリンピックを徹底紹介

開催時期とエンブレム



2018平昌冬季オリンピック
2018年2月9日～2月25日(17日間)
7競技15種目
100カ国参加(約50,000人)



2018平昌冬季パラリンピック
2018年3月9日～3月18日(10日間)
6競技6種目
50カ国参加(約3000人)

スローガン

一つになった情熱

Passion. Connected.

オリンピックマスコット



スホラン

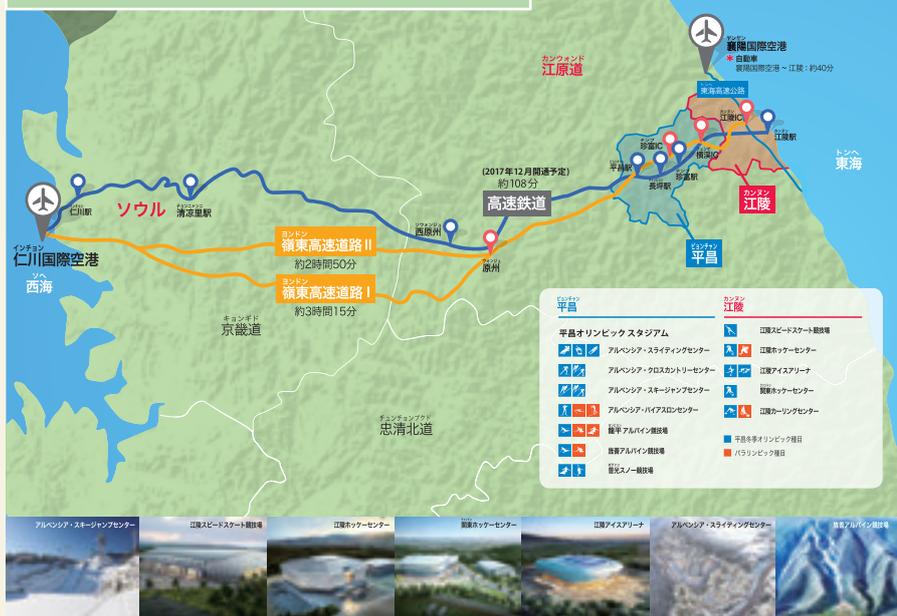
バンダビ

平昌オリンピックのマスコットは、韓国を代表する守護動物として知られる白虎で愛称はスホラン、パラリンピックは韓国神話にも登場するツキノワグマのバンダビです。オリンピックマスコットは、免税店などで多様なグッズが順次発売。お土産の案内は もちろん、ツアー参加や申し込み特典のノベルティにもおすすめです。

概要と競技種目

「2018平昌冬季大会」ではオリンピックに約100カ国、パラリンピックに約50カ国の選手が参加します。競技はオリンピック15種目、パラリンピック6種目が予定され、人気観光地でもある3つの地域(平昌・旌善・江陵)で開催。雪が多く、韓国の原風景が多く残る山間部の平昌郡と旌善郡ではスキージャンプやボブスレーなど雪上競技が行われ、美しい海岸線と伝統家屋が集まる海沿いの街、江陵市ではフィギュアスケートなど氷上競技が行われます。

アクセス



全競技場が30分以内に配置され、冬季オリンピック史上、最も集約されコンパクトに回ることができる平昌オリンピック。個人客が利用しやすい鉄道「KTXオリンピック線(仮)」だけでなく、団体客旅行需要の増加を見込んだ新規高速道路なども開通します。鉄道は従来の5時間強から2時間に、高速道路は3時間から1時間半と大幅に短縮されます。

<KTXオリンピック線(仮)>

- ◎2017年度開通予定
- ◎仁川国際空港～ソウル～平昌～江陵
- ◎ソウル～平昌:約1時間
- ◎仁川国際空港～江陵:約2時間

<嶺東高速道路II>

- ◎仁川国際空港～江陵:約2時間50分

平昌のある江原道って？



江原道は韓国の中央東部、海に隣接し、山、海の豊かな自然に恵まれています。雪岳山をはじめ季節ごとに姿を変える山々、美しい海岸線が魅力で、各種アクティビティはもちろん、名物海鮮料理、歴史遺産観光なども楽しめるオールマイティな観光地です。

江原道のおすすめ！ 注目はオリンピック開催地の 平昌、江陵、旌善

江原道の3地域、平昌、江陵(カンヌン)、旌善(チョンソン)で開催されるオリンピック・パラリンピック。江原道は、かつて春川を中心に「冬ソナのロケ地」として日本人観光客を魅了してから約10年。もともと韓国内では人気の高い観光地で、外国人向けのスポットも少なくありません。観戦ツアーにとらわれず、近隣のオリンピック関連施設に周辺観光地、郷土料理を組み合わせ提案できるのが強みです。

おいすぎる! 郷土料理

平昌



韓牛

山の空気がおいしい平昌で食べられるのが最高級の韓国牛。「大関嶺韓牛タウン」では、直売の韓牛をその場で食べることができます。自分で選び、自分で焼くのも醍醐味です。

江陵



ヘムルチョンゴル

海の街として知られる江陵は海鮮料理が絶品。特に、季節の海鮮食材をたっぷり使った鍋が人気です。江陵はおしゃれなカフェ通りもあるので、食後はコーヒーがおすすめ。

旌善



コンドゥレごはん

名物の山菜、コンドゥレの炊き込みご飯です。薬味醤油を混ぜながら食べます。コンドゥレは乾燥したのも売られているので、旅のお土産に案内してみたいかが。

提案したい! 周辺観光地

平昌

オリンピック開催中心地



アルペンシアスキージャンプ台

平昌アルペンシアリゾートはホテル、スキー場、コンベンションセンターなどを兼ね備えた複合リゾートでジャンプ台もその中にあります。展望台やスカイラウンジからの眺めは絶景。

江陵

伝統あふれる海の街



海列車

世界一海に近い駅といわれる正東津(チョンドンジン)駅を発着する観光列車。座席は海を向き、船内をイメージした内装で車掌がDJとなり車内を盛り上げる工夫も。正東津はドラマのロケ地としても有名。

旌善

アリラン発祥の地



旌善五日市(アリラン市場)

2と7がつく日に開かれる韓国最大規模の伝統市場。農村で栽培された各種野菜、伝統酒のとうもろこしトドンジュなどが売られています。近くの伝統芸能・アリラン専用劇場で公演もあります。



伝統飲食文化体験館「静江園」

コチュジャンやチヂミ、高麗人参ヨーグルト、ピビンバ、キムチなどが作れる本格料理体験館。食堂のみの利用、韓服体験、韓屋に宿泊することもできます。



烏竹軒(オジュッコン)

朝鮮時代の儒学者、李珣とその母の家。立身出世、子育てにご利益のあるパワースポットとして知られています。今年1月末よりの日韓同時放送ドラマ「師任堂(サイムダン)、色の日記」の撮影地としても話題を集めています。



アリヒルス

山や川に囲まれた独特の地形を利用したレジャーが楽しめます。床がガラス張りの展望台からは四季折々の景色を一望。山頂からふもとまで滑空するアトラクション・ジップラインも人気です。

グローバル観光&テーマ旅行

旬の地方観光から異色体験まで、韓国旅行の未来を左右する素材ばかりです。今後もKTOは、定期的に旅行会社の商品造成に役立つ情報を提供していきます。

ソウルから 一歩先に広がる グローバル観光10選

韓国政府文化体育観光部は地方観光のグローバル化を図るため、ソウルや釜山などの大都市だけでなく、特色豊かな地域を選定し、これを活用した「グローバル観光」をPRしています。グローバルとは、グローバルとローカルを組み合わせた造語。2017年は既存の5地域に加え、仁川広域市、京畿道、大田広域市、全羅北道、忠清北道の5地域を新たに追加し、計10の地域が持つ魅力ある素材を活用して、外国人観光客に向けた韓国旅行商品開発を進めていきます。

既存5地域のおすすめポイント

釜山(プサン)

**メディカルと
美と癒しの旅**
美と健康をサポート

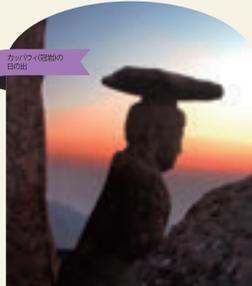
釜山は医療・美容観光、ヘルスツーリズムのメッカ。ビューティーから美しい海でのヨット体験などを通じた癒しまで、キレイになりたい女性を取り込むプランが充実しています。



大邱(テグ)

**思い切り楽しむ
大邱旅行**
ロマン、癒し、体験、
グルメで五感満足

食べて遊んで楽しめるスポットが充実。韓国の近代史が刻まれた街散策の後は韓方足湯で疲れた心身をリフレッシュ。コプチャン(ホルモン)焼き屋通りのグルメも見逃せません。



江原道(カンウォンド)

Hello! 平昌
オリンピック、お祭り、
清らかな自然

オリンピック関連施設の見学だけでなく、海や山の美しい大自然を活用したアクティビティ、アリラン発祥の地・旌善の祭りなど、韓国の多彩な魅力を提案できるのが江原道です。



麗水(ヨス)

**ロマンチックな麗水の
夜の海と順天湾**
(スンチョンマン)の夕焼け

大切な人と歩きたい麗水の夜の海上ケーブルカーに乗って空から見下ろす麗水の海は絶景。生態観光地・順天湾には人の背丈を優に超える葦が一面に広がる湿地があり、夕焼け時は自然とのコントラストが最高潮に。



統営(トヨン)、巨済(ジウ)

**恋のときめき
将来を約束する
ロマンチックな島**

統営と巨済の魅力は、海の自然景観が非常に美しいこと。純愛ドラマが数多く撮影され、美しい海をバックに将来を約束するカップルも続出。優雅なバカンスを楽しめます。



韓国グローバル観光一覧

	自治体名	テーマ	素材一例
既存	釜山広域市	メディカルと美と癒しの旅	・SMSメディビューティーツアー・遊覧船
	江原道	Hello! 平昌	・平昌スキー・ジャンプ台・旌善アリラン体験・祭り・海列車
	慶尚南道 統営、巨済	恋のときめき	・海の自然景観とロケ地・ウエディング撮影・マリンレジャー
	全羅北道 麗水	ロマンチックな麗水の夜の海と順天湾の夕焼け	・海上ケーブルカー・順天湾で生態観光・エキスポ海洋公園
	大邱広域市	思い切り楽しむ、大邱旅行	・コプチャンなどのグルメ・韓方体験(大邱薬令市)・西門市場
追加	仁川広域市	どきどき仁川、訪ねる楽しみ	・チャイナタウン・童話村・松島国際都市
	京畿道	五感を覚ます、京畿北部旅行	・テンプルステイ・水原華城・キャンプグリーブス
	大田広域市	百済!歴史イシュー(ISSUE)	・百済体験・伝統文化体験
	全羅北道	匠とともに私の食卓づくり	・飲食体験観光・ラムサール湿地
	忠清北道	韓方&大統領(King)ロードヒーリングツアー	・韓方ティーセラピー・薬膳グルメ・観光モノレール

※追加地域を含めた詳細情報は4月末にパンフレット発行予定

付加価値アップの鍵は

訪韓日本人旅行者の需要回復と質的向上に向け、付加価値をアップさせる鍵となるのが、地方観光やテーマ旅行の開発です。そこで、いま注目の「グローバル観光」と「テーマ旅行」をご紹介します。

韓国旅行は
これから
「テーマ」の時代へ

近距離にあり、その気になれば1年に1回以上気軽に訪問できる韓国。今の観光客にとっては主な観光地をめぐり、料理を食べて土産を買って来るといった、ただ訪れる旅だけでなく、各自がテーマを持って「何をしに韓国に行ったか」ということが最も重要になっています。そこで、韓国を旅行するにあたり、目的になるテーマを分類しました。各テーマを組み合わせることで、韓国旅行市場に活気を呼び込む力になることを期待しています。

公演

音楽と踊り、物語が融合した韓国の公演は忘れられない思い出に。韓国語が分からなくても楽しめるノンバーバルパフォーマンスから伝統公演、K-POPまで、リピーターをつかむのに最適な素材です。



韓国を代表する貞洞劇場の新作「蓮、もう一度咲く花」。独創的な動きと舞台演出が魅力

伝統市場

現地の人々の生活、活気を間近に見ることができる空間の筆頭が伝統市場です。安くおいしいその市場ならではの名物グルメ、夕食と夜の観光を一度に楽しむことができる夜市など、観光客を喜ばせるポイントが数多くあります。



ソウルの通仁市場。好きなおかずを選べるお弁当カフェを運営、工房体験ができるのがポイント

文化観光祭り

韓国人は昔から四季と古くから受け継がれてきた地域の伝統を結びつけ、祭りとして楽しんできました。観光客参加型のイベントや体験プログラム、地域でしか食べられない名物料理は、地域の祭りならではの醍醐味です。



韓国最大の穀倉地帯である湖南平野の中心地で開催される金堤地平線祭り

スポーツ

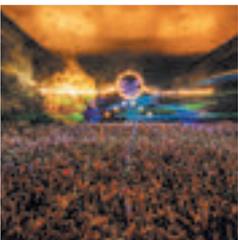
平昌オリンピックでも注目されている韓国のスポーツ。世界レベルのスノーリゾートはもちろん、スポーツ体験、参加型のマラソン&ウォーク、人気の野球、サッカー、テコンドーなどの競技観戦もおすすめです。



韓国伝統の地で、美しい桜通りに沿って走る慶州マラソン&ウォーク

国際イベント

その場所で特別に開催される国際イベントは、それ自体で良い旅行のアイテムになり、滞在時間を伸ばすことにも役立ちます。イベントを通じて韓国をより身近に感じていただけるきっかけにもなります。



歴代最強のDJが集まるEDM(エレクトリック・ダンス・ミュージック)イベント、ビッグシティビーツ・ワールドクラブドーム・コリア2017

異色体験

SNSなどで他の人に思わず自慢したくなるのが、新しいアイデアが活かされた異色体験。人力車に乗ってソウルをめぐるツアーはオッパ(お兄さん)とのコミュニケーションが楽しみ。韓食料理体験のクッキングクラスも人気です。



韓国の最新トレンドが、伝統衣装である韓服、チマチョゴリを着た北村韓屋村などの観光地めぐり

2018平昌冬季五輪

韓国でいま最も注目されているのが、五輪が開かれる平昌・旌善・江陵の3つのエリア。このエリアは韓国らしい伝統的な風景が広がり、郷土料理も魅力です。五輪を体感できる広報体験館や関連イベントも盛りだくさん。



江陵にオープンした平昌冬季オリンピック広報館。競技を体験できる4Dシアターも

「ミシュランガイド」ソウル

韓国旅行の大きな魅力であるグルメ。高付加価値商品としてミシュランガイドが選定したグルメ店を参考にした旅行コースの造成はいかがでしょうか。三ツ星の韓食からこだわりの庶民派までまんべんなく選ばれています。



ミシュラン掲載の「パルコンヤン」。お寺がプロデュースしたモダンな精進料理が人気

ドラマロケ地

韓流ドラマによって韓国に興味を持つようになった人も多いのでは。ドラマロケ地の多くは地方にあるので、その地域と連携した観光商品を造成すると、特別なプランになるでしょう。



ドラマ『青い海の伝説』。ヒロインがヒーローと再会するのが麗水アクアプラネットです

「テーマ」で巡る
韓国旅行

それぞれのテーマごとに、観光素材やプランやモデルコースを紹介しているのが、KTOの素材集パンフレットです。詳しくは各支社へお問い合わせください。



韓国の奥深い魅力を紹介します ※名士14人から一部の方をご紹介します

キム・ヨンセさん
近代文化遺産、伝統酒の
白蓮マッコリ
忠清南道・唐津



日本人にも大人気の韓国酒・マッコリ。100年の歴史がある忠清南道・唐津の「新坪醸造場」のキム・ヨンセさんは韓国のブランド米を100%使用、白蓮葉を発酵過程に添加した生マッコリの生みの親。白蓮マッコリは青瓦台の晩餐会場でも提供されるほどの人気です。トークショー、醸造場の見学、マッコリカクテル作り体験、試飲などを提供できます。

イ・ソクさん
朝鮮王朝最後の
皇孫
全羅北道・全州



朝鮮王朝最後の皇孫であるイ・ソクさん。イ・ソクさん自らが韓国全土の女性や若者たちに人気上昇中の全州韓屋村を案内します。韓国の伝統家屋・韓屋が600軒連なる集落で、朝鮮王朝時代の史跡、今なお人が暮らす伝統家屋、伝統家屋を活かしたショップが点在し街歩きが楽しい場所です。朝鮮王朝文化に関するトークショーもアレンジできます。

これからは名所だけでなく “人”が魅力に

地元名士活用文化交流事業で 商品開発を

高級化、差別化の一環として旅行会社の皆さんに提案したいプロジェクトが、地元の名士の力を活かしたコンテンツです。韓国全土から地元を代表する名士を14人選定しました。トークショー、体験プランなど旅行者の知的好奇心を刺激する内容となっています。



投票により50コンテンツの中から順位が決まりました。順位を参考に、新しい企画を考案してみたいはいかがですか。

新企画におすすめ! プチ・ラグジュアリー体験

Beauty

第1位

「韓方」を使った
ラグジュアリーエステ

やはり一番人気は高級スパ。江南(カンナム)エリアなどでは、ラグジュアリーな空間で高麗人参など「韓方」を使ったトリートメントを受けることができます。



Sightseeing

第2位

ライトアップされた
幻想的な王宮

団体やパッケージツアーにぜひ組み込みたいのが朝鮮時代の宮殿である王宮のライトアップ。昼間の雄大な姿とはまた違い、幻想的な姿を見ることができます。



- 1位 ラグジュアリーな空間に癒される、「高級スパ」を堪能
- 2位 ライトアップされた幻想的な王宮の「ナイトツアー」へ
- 3位 ソウルの夜景と、鮮やかな花火がコラボする「奇跡の夜」を体感
- 4位 話題の「美顔鍼灸」で、憧れの韓国女子のような美肌に
- 5位 自分にぴったりの「オーダーメイドシューズ」をリーズナブルな価格で
- 6位 伝統のある名店でいただく、烏骨鶏を使った「高級参鶏湯」
- 7位 量も質もソウル随一! 「豪華なビュッフェ・ブランチ」
- 8位 モダンなおしゃれ空間で、目にも舌にもおいしい「韓定食」を
- 9位 定番の豚肉だけじゃない! 通に「高級韓牛」を味わう
- 10位 穴場的HOTスポット「合井(ハプチョン)」の街並み散策&カフェ巡り

Information

2016~2018韓国訪問の年 K-smileキャンペーン実施

韓国訪問委員会は2016年から3年間を「韓国訪問の年」とし、2018年平昌冬季五輪などと連携し、特別なインセンティブやプロモーション、コリアグランドセールなど様々なイベントを行っています。さらにK-smileキャンペーンを実施。「再び訪れたい韓国」をビジョンに国民が参加して行うキャンペーンで心を込めて外国人観光客をお迎えします。



K-スタイルハブ



2016年、韓国観光公社ソウルセンターの2~5階にオープンしたのがK-スタイルハブです。観光案内所はもちろん、韓流コーナー、主要観光地を映像で見ることができる仮想現実(VR)ゾーン、韓食展示・体験館、医療観光など、一カ所で韓

国観光情報のすべてを網羅していますので、ソウルの新しいスポットとしてツアーに組み込んでみてはいかがでしょうか。

場所:ソウル特別市中区清溪川路40

動く観光案内

明洞や東大門といったソウルの主な観光地では、赤いユニフォームを着たガイドスタッフがお店やホテル探し、落とし物など、観光客の「困った!」に対応しています。

時間:9:30~19:30 場所:明洞、梨泰院、東大門、カロスビルほか



観光警察



治安が良い韓国ですが、観光警察は観光地での犯罪予防や不法行為の取り締まりだけでなく、観光の苦情、相談などの様々なサービスを、日本語をはじめとする外国語で提供しています。ソウル、釜山、仁川の主要観光地に案内センターがあり、そのエリアを中心にパトロールしています。



どこからでも日本語で問い合わせ可能(24時間、年中無休)。

- 韓国国内からは、そのまま「1330」を押してください。
- 日本からは、「+82-2-1330」

※この記事に関するお問い合わせは韓国観光公社へ

韓国観光公社 韓国観光情報サイト
 URL <http://japanese.visitkorea.or.kr/>
 東京支社 ☎03-5369-1755 大阪支社 ☎06-6266-0847
 福岡支社 ☎092-471-7174

こんな方々が旅行者に寄り添い

チョ・ギボンさん

飲食知味方

(ウムシクディミバン) 伝授者

慶尚北道・安東



ファンが多い韓国料理。さらに極めたいリピーター層には、朝鮮時代後期の1600年代に書かれた初のハンゲル料理書「飲食知味方」の伝授者であるチョ・ギボンさんとの出会いを演出してみたいかが。レシピには韓国の長男の家だけに伝わる伝統料理が盛りだくさん。体験館ではレシピの料理作り、テーブルセッティング、試食などが体験できます。

ジン・ヨンソンさん

アリランセンター

博物館館長

江原道・旌善



昔から韓国の情緒を表現する歌として歌い継がれてきたアリラン。地域によって歌詞とメロディが異なるなか、趣が豊かなことで有名な旌善のアリランです。オリンピックの競技開催地でもある旌善はいま注目の場所。伝統アリランセンター博物館長のジン・ヨンソンさんがトークショー。アリラン公演の観覧、体験もできます。

韓国観光公社は、次の女子旅の参考に、プレミアム・フライデーにもぴったりのプチ・ラグジュアリー体験も提案しています。韓国ファン1081人の

Shopping

第5位
自分好みの
オーダーメイドシューズ



ワンランク上のショッピング提案で、世界で一つだけのオーダーメイドシューズ体験はいかがでしょう。デザインが豊富で価格もリーズナブルです。

Café & Sweets

第10位
個性的な街並みの
カフェ巡り



トレンドに敏感な女性たちに提案したいのは、若者でにぎわう弘大(ホンデ)の隣駅「合井」の散策。おしゃれなカフェがあちこちにある、いちごなど季節のフルーツを使ったスイーツは女性に人気!

Wanna travel Korea with me?



[Jeju Stone Park, Jeju island, Korea]

CREATIVE |
KOREA



KOREA
TOURISM
ORGANIZATION